



# 塾屋【公 式】

## 入 塾 案 内

順番にお読みいただくと理解しやすいように構成していますので、  
初めてお読みになる際は目次どおりに読み進めてください

なお、表示されている金額は全て税別での金額です

<input type="checkbox"/> 目次	1
<input type="checkbox"/> 基礎方針 心強い子に育てる	2
<input type="checkbox"/> 3つの授業について	4
<input type="checkbox"/> 独学	10
<input type="checkbox"/> 自己管理	12
<input type="checkbox"/> こころの貯金	22
<input type="checkbox"/> ボードゲーム	26
<input type="checkbox"/> 指導コース・月謝	28
<input type="checkbox"/> 12年間の計画	35
<input type="checkbox"/> 塾としての安心・当たり前宣言	42
<input type="checkbox"/> 塾長について	44
<input type="checkbox"/> オマケ～最後に	45

# 塾屋の方針と手段

基本方針=最上位目標

## 最上位目標

### 心強い子を育てる

- ・一人で解決できる心強さ = 自律
- ・周りに頼られる心強さ = 共成

#### 目 標

- ・夢を叶える力を育てる
- ・自己管理能力を育てる
- ・考える力を育てる

#### 手 段

<参加型授業>   <演習日>   <苦手講習>  
<こころの貯金>   <ボードゲーム>

これまでの

# 「塾の当たり前」をやめました

塾屋では、工藤先生の「上位目標」という考え方で、塾で当たり前とされて来た制度や慣習に対して、そもそも必要なのか。それが上位目標を達成するための手段になっているのかを疑い、不要なものは無くしてきました。

※東京都麹町中学の校長先生の著書「学校の当たり前をやめた」の著者 工藤勇一先生に許可を得ております。

## 今までの「塾の当たり前」

- ① 大量の宿題をやらせる
- ② 学年が上がるにつれて月謝が上がる
- ③ 通常の授業以上にかかる、強制参加の講習・合宿
- ④ 授業をたくさん受けさせることを重視
- ⑤ 懇談会は講習への勧誘目的
- ⑥ 紹介で生徒を連れてこさせて人数を増やす

「心強い子を育てる」ために・・・と考えたら



## 塾屋が提示する「新しい当たり前」

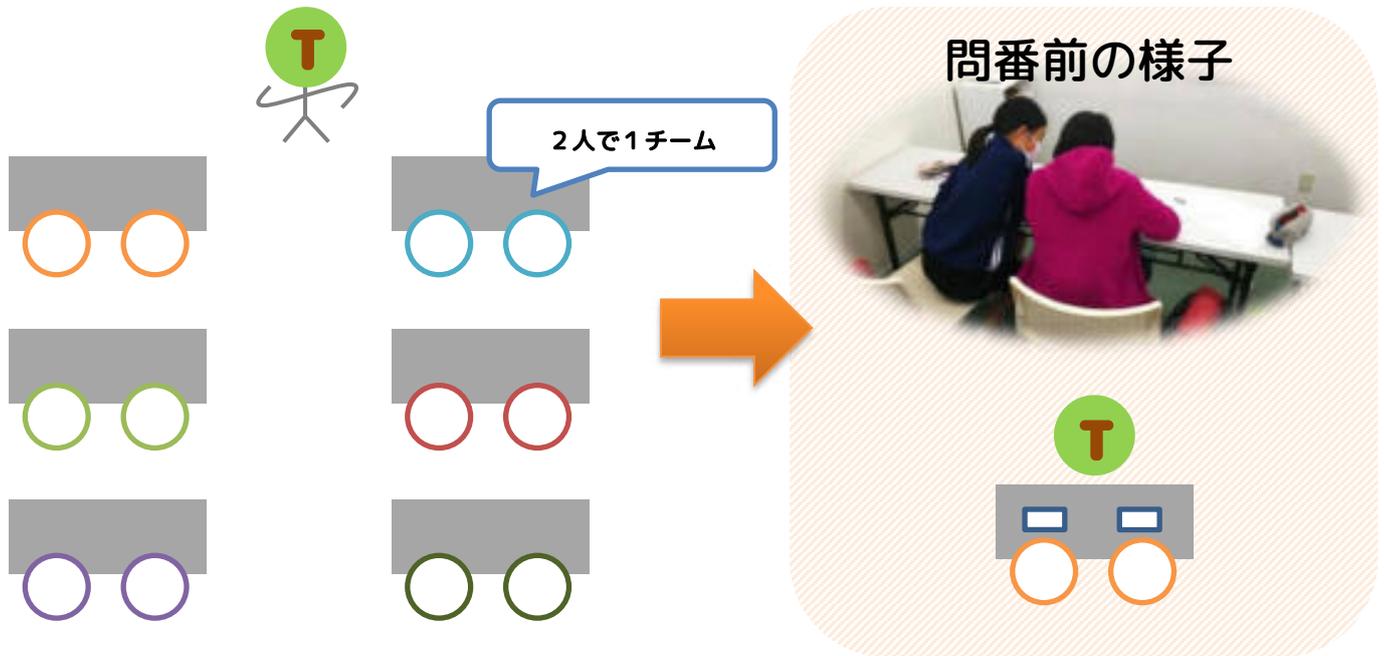
- ① 宿題を無くしました
- ② 中3の夏・冬の模試、2月の公立入試模試以外は全て任意の講習です
- ③ 月謝は学年ではなく、塾業界初の「成長割」を採用
- ④ 授業は「できるようになったか」の確認テストがゴール
- ⑤ 懇談会は、親子参加で1時間前後で、講習の話は冊子を渡すのみ
- ⑥ 紹介での入塾は禁止です

塾屋が大事にしているのは

『塾でやるのが、塾屋が掲げる目標のための手段になっているか』ということです。

上記に掲げた目標と手段を確実に経験していけば、**成績UP**、**志望校合格**はその**成果の一部**として確実に実現できると考えています。

# 参加型授業とは



## 参加型授業の特長

**1** 授業は、**学校で習った内容の復習**がほとんどです。

学校で習った内容について問題を出しながら確認していきます。その問題を「個人」または「チーム」で解いていき、チーム間で競争してもらいます。（罰ゲームあり）

ここで間違いが多いということは『学校の授業が入っていない』『学校の宿題で学べていない』ということになります。

**2**

教科は**毎週変動**で、小学校は**算数国語（英語）**、中学校は**5教科**行います。

勉強方法の授業など、その学年に必要な学びをしてもらう時間にしています。

**3**

学び方（授業方法）に**多様性**をもたせてあり、生徒1人1人が**受身の姿勢**では損をするような**形式**をとることで、

1人1人の**主体性**を伸ばし、**学習効果**を高めています。

## 早く終わればボードゲームの時間が待っています！

学校の復習をしているので、クラスみんなが学校で学べていれば授業時間が余ります。その残りの時間で【ボードゲーム】を行います。（その理由と効果については別ページにて）



ライフ～私の人生～



スピードカップス

小1～小3の参加型授業は、学校の進度がゆっくりで毎週だと復習内容が少ないため、

「学校の勉強」の週と「ボードゲームクラス」の週を交互に行う形式で進めていきます。

## 帰りの問番が待ち構えています！（中学生のみ）

分からないところを教えてもらったけど、そのまま帰宅・・・では、全く意味がありません。

多くの塾が「時間が来たら帰る」授業をしています。塾屋の中学生の授業では、**最後にみんなが苦戦したり理解できていなかった内容を1チームごとにテスト**をします。

それを合格したチームから帰宅できるようにしています。

**まだ分かっていない・覚えていないものを放置すると・・・**



「さっきのここ、教えて」と助けの声を出せるか

「ここ大丈夫？」と確認の声を出せるかがカギ

（株）1098 2007 - 2021 塾屋 All Rights Reserved

# 演習日とは

<この授業は小1～小5の生徒は任意です。始めたい方はご連絡ください。>

塾屋では「勉強を何分したか」「勉強を何ページしたか」「ワークを埋めたかどうか」は評価していません。なので、家でワークを埋めてくる宿題を出しません。代わりに、1つ1つの勉強が「できるかどうか」の確認をする授業＝演習日を行っています。

## 演習日の流れ

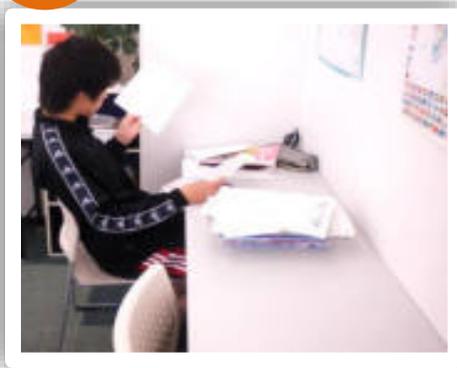
### 1 来たら、自分の席を決めます。



その日ごとに自分で良い環境を探すことも勉強の1つです。

自己管理シールの色によって、選べる席を分けています。

### 2 その演習内容の準備をして、演習スタートです。



どの内容から勉強するのかを決め、勉強を始めます。1つ1つの勉強のゴールは「**確認テストで通用すること**」です。そのために、練習したり、分からないところは調べる、または質問するなどして仕上げていきます。

**3** 1つの勉強が仕上がったら、確認テストを行います。



**4** 合格したら、スタンプを捺してもらい、次の演習内容へ。  
全て終わったら終了です。

**5** 合格せずに残ったものは、期日までに合格させます。

**6** 期日までに残ってしまったものは、鬼の日という特別な日（有料）に出席して終わらせます。それでも終わらなかった内容は、苦手講習 Pro で1からやり直します。

## 演習日でしかできないことがたくさんあります

学校の授業や塾屋の参加型授業を受けているだけでは見えてこない部分の多くが、この演習日での言動で見ることができます。先生がいて、説明してくれて・・・という、授業を受けるだけでは見えない部分こそ、自己管理能力なのです。

その人の**勉強能力**、**経験**、**価値観**がそのまま見えてしまうのが**演習日**です。

# 苦手講習とは

＜この授業は、春・夏・冬の講習で受講できる授業です＞

途中から入塾した生徒によっては「すでに苦手になっている教科や単元がある」場合があります。また、当初は日々の勉強に精一杯だった生徒が成長し定期テスト、受験となったときに「きちんと通用するレベルまでやれていない教科や単元がある」または「受験レベルまで勉強してこなかった教科や単元がある」場合があります。

そういった過去の学習内容の復習を苦手講習で行います

単元	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
算数						
1年生						
2年生						
3年生						
4年生						
5年生						
6年生						

小学生 算数の一覧表



## 苦手講習には2タイプあります

### 苦手講習 < Light >

過去の苦手な教科や単元はあるものの、一人で学ぶ力がある人にオススメです  
学ぶのに必要な教材やプリントを指定するので期限までに勉強し確認テストで合格させる講習です

### 苦手講習 < Pro >

過去の苦手な教科や単元はあるものの、一人では学べない人にオススメです  
実際に塾長を始め、その教科に長けたスタッフとのマンツーマンの授業で指導をする講習です

詳細は、春期・夏期・冬期の講習前にご案内いたします

## 【小学生】 苦手講習 P r o (算・国)

受講する単元に○をつけてください。赤の印が押してある内容は、過去に受講した内容です (再受講可)。

とけい I	○	○	体積 II	○	○	円 II	○
円と球 II	○	○	約数、約数、奇数偶数 II	○	○	文章題全般 III	○
大きな数 I	○	○	割合 II	○	○	計算全般 III	○
がい算、算前もり II	○	○	平均 I	○	○	単位 III	○
計算のきまり II	○	○	単位量あたり I	○	○	塾長お任せ II	○
立体 I	○	○	図形の面積 II	○	○	主語・述語・修飾語 I	○
角度 II	○	○	文字と式 II	○	○	ローマ字 II	○
折れ線グラフ I	○	○	比 I	○	○	文章読解 II (5, 6年生対象)	○
面積 (長方形のみ) I	○	○	速さ II	○	○		○
○ I	○	○	比例・反比例 II	○	○		○

## 【中学生】 苦手講習 P r o (英・国・社)

受講する単元に○をつけてください。赤の印が押してある内容は、過去に受講した内容です (再受講可)。

英語	国語	社会
英語の基礎 (中1用) II	文脈、単語に切る II	時差の計算 I
英語の基礎 (中2用) II	主語・述語・修飾語 II	
英語の基礎 (中3用) II	品詞の区別 II	塾長お任せ (地理) II
疑問文・否定文 II	用言の活用 II	塾長お任せ (歴史) II
発音・アクセント II	助詞、助動詞 II	
英作文トレーニング II		
和訳トレーニング II	塾長お任せ (文法) II	
	塾長お任せ (文章題) II	
塾長お任せ II		
<small>リスニングは聴覚的学習効果が期待でき、</small>		
<small>学習として計画的に行います。塾長に相談を、</small>		

## 【中学生】 苦手講習 P r o (数)

受講する単元に○をつけてください。赤の印が押してある内容は、過去に受講した内容です (再受講可)。

中1	中2	中3
計算 (習ったところまで) II	計算 (習ったところまで) III	計算 (習ったところまで) III
方程式の文章題 III	等式変形 I	展開、因数分解 (応用まで) II
比例反比例 II	連立方程式の文章題 III	平方根 (応用まで) II
平面図形 (計算以外) II	一次関数 (基本) II	二次方程式 (計算) II
円・おうぎ形 II	一次関数 (利用) II	二次方程式 (文章題) III
立体図形 (計算以外) II	角度 II	まとめ
体積、表面積 II	証明 (穴埋め) II	文章題 (距離) II
資料の活用 II	面積比・等積変形 II	文章題 (%、割合) II
	確率 II	塾長お任せ II

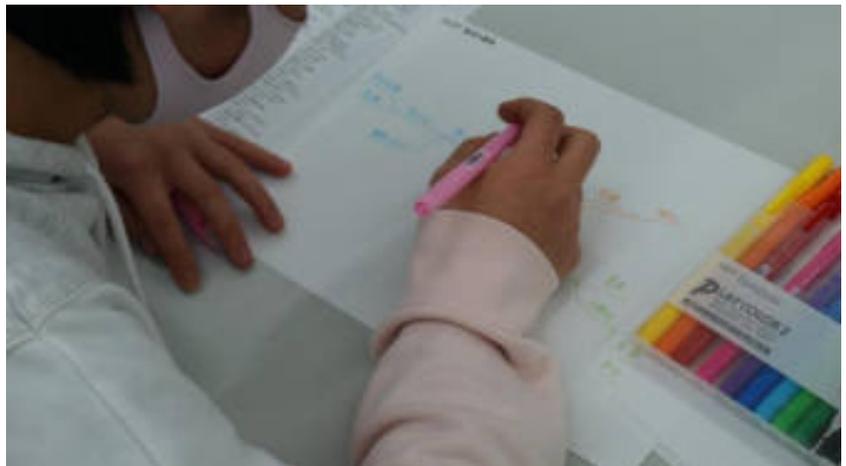
# 独学を学ぶ

独学とは「自分一人で解決させていく」勉強の過ごし方のことです

勉強をしていれば多くの悩み、問題が発生します。それを誰かが主導になるのではなく自分で問題を提議して、その問題を分析し、**自分で対処行動をして解決させていくサイクル**を学んでもらいます。

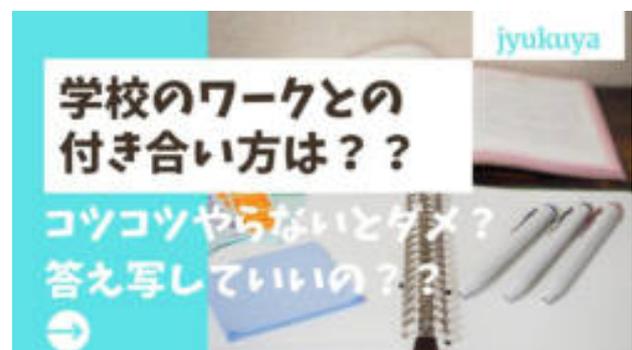
塾では、様々な方法で学ぶ機会をつくっています

例 マインドマップ講座



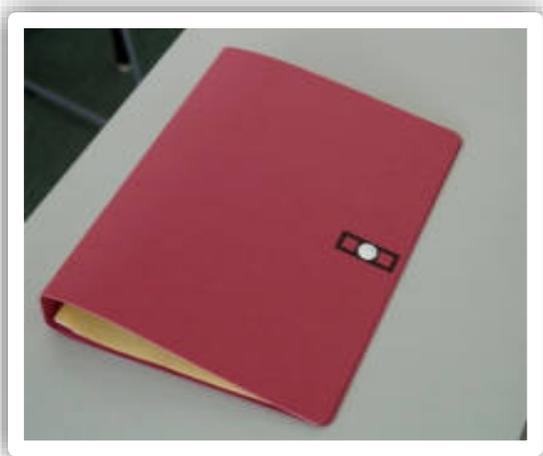
例 勉強 YouTube

塾内で指導する用に動画を作成。自主的に観ることも可能ですが、必要な生徒には演習日などで見せることもあります。



# 自己管理を学ぶ

< 自己管理シールが、個人の演習ファイルのおもてに貼ってあります。 >

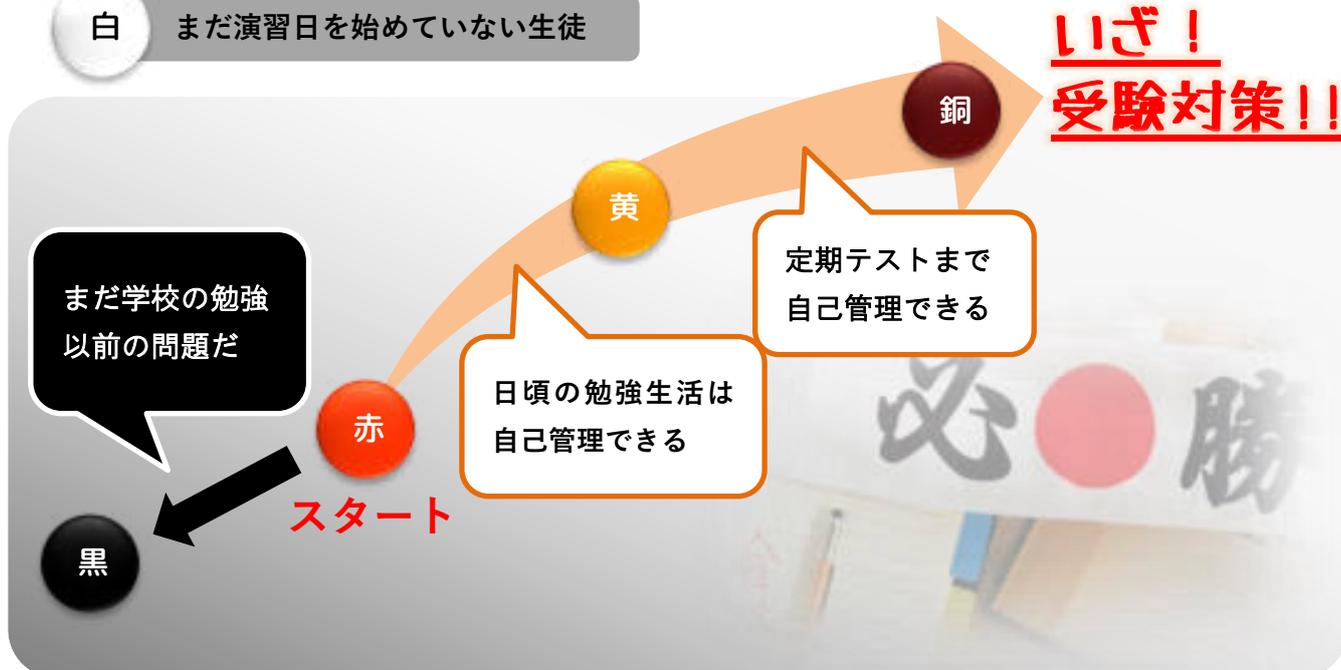


自己管理レベルを階級分けしています。

これは、成績、順位、偏差値、全く関係ありません。

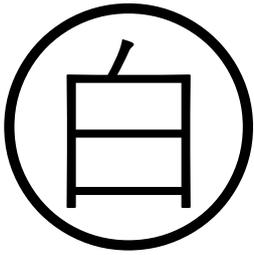
シールの色は・・・

白 まだ演習日を始めていない生徒



という順に、より**広い範囲**で**自己管理**ができることを示しています。

そのままの色だと**受験指導**を一切しないこともあります。



## まだ演習日が始まらない人の色です

### 『演習日の始め方 Q&A』

演習日は小6からは必須ですが、5年生までは任意としています。塾としては早くから勉強を自律させる習慣を身に付け、学校以外の+αの勉強を始めて欲しいですが、習い事の忙しさなど、各ご家庭の方針にもよるので強制にはしていません。

また、小1～小3の場合、演習日を始めても、日ごろの勉強生活を自己管理できる「シール黄色」になることはありません。これは、まだ低学年・中学年のうちは、どれだけしっかりしている子ども他者の管理（補助）が必要なのと、自己管理に必要な能力のいくつかが発達段階の中でまだ年齢上、概念が備わっていないためです。

#### ◎演習日を始めて、シール黄色になる可能性があるのは4年生からです。

小1～3	演習日を始めることはできるが、 <u>黄色</u> になることは <u>できない</u>
小4～5	演習日を始めることができ、 <u>黄色</u> になることも <u>できる</u>
小6～	演習日は <u>必須</u> 。 <u>黄色</u> になることもあれば、 <u>黒になることもある</u>

#### ◎小5までの子の始め方

- ・1つ目は最初の懇談時に説明した際に「**最初から演習日ありで**」とおっしゃってください。
- ・もう1つは、入塾後、年3回ある親子の懇談会のときに「**演習日を始めたい**」とおっしゃってください。



- ・ 日々の勉強レベルで自己管理ができていない人の色
- ・ 演習日スタート時の色

## 赤の子には、どんな指導を行うか

まだ、学校の授業、課題を自己管理して習得したり遅れず提出することも難しく、また勉強に必要な能力の不足も多い。そういった段階の生徒の色です。

この段階にいるうちは『日々の学校の勉強を自己管理できること』をテーマに指導していきます。なので、日々の勉強以上の能力が求められる、中高生の定期テストや、実力テスト、入試に対しての指導は、たとえ受験期の生徒でも行いません。

	指導の有無
日ごろの勉強	◎
定期テストの対策	×
受験対策	×

## どうしたら、赤から変わるのか

「シール赤のままじゃダメじゃん」そう危機感を持ったかと思います。では、どうしたら黄色に変わるのか。成績が上がった。順位が上がったではありません。このシールはあくまでも「自己管理能力」で判断しています。

<中学生用 <能力表>の一部です>

自己管理シール赤<能力表 中学生版>	
論理的思考「力」	解き方や理由が「ことばで」説明ができるようになる、数学など「カンで」解こうとしない
対話「力」	(仲良しでなくとも)人と話し合いができる、困った時に人に声をかけることができる
解決「力」	人・モノを使って解決するための行動を起こすことができる、困っているものを放置しない
締切を守る「力」	期限から逆算して計画を立てて実行し期限を守ることができる
対人ゲーム「力」	対人ゲームを理解し、勝つために全力で参加することができる
正直「力」	勉強生活において嘘をつかず、ごまかさずに過ごしている
データベース「力」	データベースを自主的に活用して、自分の勉強に役立てている
文字から学ぶ「力」	書かれている文字情報を自分で読み、そこから気づいたり、学ぶことができる
人から学ぶ「力」	授業や動画など人から教えられ、そこで学ぶことができる
ワークで学ぶ「力」	ワークなどで問題を解いて丸付け、直しをして、そこから学ぶことができる

1つ例を挙げると、**解決「力」**とあります。

これは、生徒が勉強に限らず、困ったときに自分で解決できない場合、ちゃんと人を頼り、他のアイテムなどを使い、解決を諦めずに行動する力があるかを観ます。

日ごろの塾での生活、懇談や保護者の方への聞き取りなどで分かる言動を観察し、**様々な「力」の有無**を確認します。実際の演習日では、この能力の向上を目的とした内容も行います。指導していき、その「力」がついてきた時点で、その項目はクリアとなります。逆にまだまだ身につけていない（意識されていない）部分はずっと残ったままになります。

この項目を、勉強内容を通じて指導していき、項目の8割がクリアされたところで「赤の卒業試験」を課します。それを期限までに合格すれば、晴れて「黄色」になります。

## 黄色への昇格条件

**分析シートの能力表が全て黄色に変わり、卒業検定試験に合格する**

根が深い・・・学習するという基礎の基礎から取り組む



学習する能力の多くが欠如  
学校の勉強どころではない人の色

### どうなったら黒になるのか

赤の子として指導しているときに、学校の勉強内容の分かる・分からないというよりも、もっと根本的な学習能力の不足により、学校の勉強についていけない子を「黒」シールとします。

### 黒の子には、どんな指導を行うか

今やっている学校の勉強内容（レベル）、学校でのペースで演習内容を出しても大きく遅れてしまうため、学校の勉強に合わせることなく、ときに教科に関わらない内容を指導に入れていきます。

	指導の有無
勉強の基礎能力向上	◎
日ごろの勉強	△
定期テストの対策	×
受験対策	×

## どうしたら、黒から変わるのか

この黒というシール色は2019年度に新設された色です。

昨今、指摘されている学力格差の広がりや塾という現場でも感じており、その根本を、学校の進度を気にせずに指導する機会と、それを続ける期間がないと追いつけないと判断しました。

勉強が苦手というよりも、勉強をしたことがない。学習をしたことがないという生徒が増えています。

この黒に色分けされた子に対しては、1つ1つ「経験」をさせていくところから始めていきます。

やってみたけど、できない。

というよりも、やってみたことがない。そもそも、その能力を使ったことがない。という段階にあるので1つずつ指導に入れていきながら、赤の子と同じ内容でも通用するよう指導していきます。

## 赤色への昇格条件

演習内容を赤の子達と同じ内容・量にしても

大きく遅れることなく過ごせるようになる

日々の勉強の自己管理は OK！勉強は、次のステージへ！！



## 日々の勉強生活において 自己管理ができている人の色

### 黄の子には、どんな指導を行うか

日ごろの勉強生活において自己管理できると認定されました。  
なので、日ごろの勉強生活においては「任せる」というスタンスを取ります。

定期テストがない小学生は、この黄色が最高段階です。日ごろの勉強を任されているので、自分がやりたい勉強や習い事の習得など、自分のための時間にしっかり時間を使いましょう。

中学生、高校生は次の段階となる「定期テストの対策」がテーマとなります。しかし、そのさらに上の段階である受験の対策はまだ行いません。

日ごろの勉強	自己管理
定期テストの対策	◎
受験対策	×

### どうしたら、黄色から変わるのか

黄色から銅にあがるには、中高生 1 人 1 人に設定する「テスト対策」の完了、その条件しかありません。

<これは中学2年生のテスト対策の見本です>

**テスト対策 < 2年 >**

(テスト対策中、済は手前に移動)

**テスト対策は大きく3つ**

①ワーク提出完了  
②確認テスト完了  
③定期テストでの結果

「目的に合わせ」「正しい方法」で「十分な量」を「必要な質」で努力した人の努力だけが報われる  
どれかが欠けた努力は報われない

①	5教科のテスト範囲の提出物(11月24日)までに委員長に提出	提出完了
②	確認テスト(内容と出席簿用や留置点)	対策結果 (単位)
	英語(単語表Unit 4, 5 作文なし 発音・アクセントも出す)	
	英語(単元テスト+会話練習プリント+チャック すべてUnit4~6-2までの)	
	英語(監長英作文 6問 Unit6-2までの区別)	
	数学(一次関数 数友+データベースなどで勉強 利用のところを多め)	
	数学(リピート+塾の角度プリント3枚 回形~P142のところまで)	
	国語(漢字の字習24~43(20問出す))	
	国語(塾ワーク70~77+塾の古典プリント1枚)	
	理科(消化と排出 ワーク・プリントなどで勉強)	
	理科(行動と動物の分類 ワーク・プリントなどで勉強 問題多め)	
	理科(電気・電力 ワーク・プリントなどで勉強 計算多め)	
	社会(歴史プリント 江戸初期・中期)	
	社会(地理プリント 産業+時事問題プリント9~11月末)	
	社会(地理プリント 九州~中部)	

対策Mission ( )

③	テスト結果の2つの条件	結果
1 ;	5教科それぞれ平均以上。	
2 ;	自己最高順位または上位 %以内。	

テスト範囲が配布されてから、「提出物・左記の確認テストの合格・テスト結果」の3つを達成してもらいます。日ごろの勉強よりも範囲も広く、難しく、何より5教科あるので、その**スケジュール管理も重要**になります。単に『勉強ができる』だけでは達成できません。

**定期テストに対応できるだけの計画性、自律心などを持ち合わせていないと完了しないでしょう。**

逆に、このテスト対策が2回連続で完了しなかった場合、日ごろの勉強の自己管理の**甘さが原因**とみなし、シール赤に降格する決まりになっています。

銅色への昇格条件

テスト対策の完了

あとは、どこまでも伸びたいだけ伸びていけ！



定期テストまで  
自己管理ができている人の色

## 銅の子には、どんな指導を行うか

定期テストまで自己管理できると認定されました。  
なので、定期テストまでは「任せる」というスタンスを取ります。

中学生、高校生は次の段階となる「受験対策」がテーマとなりますが、高校受験は中3の夏からスタートさせますので、それまでは定期テストの自己管理の継続がテーマになります。大学受験の場合は、その子の進路に応じて受験対策の開始時期が異なります。

日ごろの勉強	自己管理
定期テストの対策	自己管理
受験対策（進路実現への対策）	◎

## 受験対策、何をするのか

高校受験、大学受験ともに「いつまでに」「何を合格するか」をスケジュール管理し、進捗状況を管理します。毎週レベルではなく、自己管理能力を活かして自分で変動できるように長めの期間で調整ができるようにしてあります。

なお、大学受験のスケジュールについては、外部ツールを使い、より大学受験に精通した専門家が最新の入試事情を踏まえて作成するスケジュールを採用します。



# 塾屋の掲げる指導目標

## 小学生

小6卒業時に全生徒を黄色に！

## 中学生

中3卒業時に全生徒を銅色に！

上位20%以内または志望校上位20%以内

## 高校生

全生徒を銅にして、自己管理できる成人に！

# こころの貯金

子どもの伸びしろは、主体的な経験値で決まる！

<全生徒に、こころの貯金の通帳を渡しています>



**日本初！【自信】**を数値化、見える化して、経過を通帳にすることに成功しました。YouTubeにて説明動画を作りましたので、上記の QR コードを読み取ってご覧ください

**次のページには、実際の通帳の見本があります**

# こころの貯金通帳

年月日	内 容／理 由	「しょう」	主体的 「しょう」
スタート	英検5級／習い事でとった	10	0
6月10日	時事問題（5月分）／興味があった	1	10
6月17日	ロジカルパズル／授業でやってハマった	5	5
8月30日	先取り学習（英語）／お母さんのすすめ	30	5
10月8日	学級委員になる／リーダーやったことない	30	15
10月9日	自己管理シール赤→黄	10	
12月8日	塾長文庫（スマホ依存）／気になった	5	10

「しょう」 ⇒ 弱い心に**勝つ**、自分に**克つ**、周りに**承認**される、**賞賛**される、**努力**した**証拠**

## 何をしたら【こころの貯金】になるのかの一覧表は

- 塾内で一覧表を置いておき、いつでも閲覧、貸し出しができます

# —— <こころの貯金>は将来の伸びしろ ——

「こころの貯金は、貯まったら何かもらえるの？」とよく問われます。

—— 答えは **No** です。

でも、1つ断言できることがあります。



**『こころの貯金ができる人は、  
自分の夢や目標に向かって行動する人だ』**

ということです。

学校の勉強・宿題という「強制的に決まっているもの」以外の時間を  
自分のために使っているから<こころの貯金>が貯まっているわけです。

例えば、これが受験期になれば、その<こころの貯金>で使っていた時間や身に付けた能力たちを受験対策にあてることができます。だから、時間的にも抵抗がなく、今まで以上にリアルに目標に向かっていくだけです。

一方で、<こころの貯金>がない子は、学校の勉強で手一杯の子または、自分のために時間を使っていない子です。彼らに受験対策を始めさせたら、どうなるでしょうか。

**「全く進まない」**

これは気持ちの有無ではないのです。受験だと言って気合いを入れて臨んだとしても、やはり受験対策は全く進みません。結果、志望校を変更したり、不合格になったりします。

塾屋では、

## こころの貯金 = お子様の伸びしろ

と考えています。



塾屋は生徒指導で

**『夢、目標が見つかったら、まずは応援される人になりなさい』**

と言っています。

どんな人が応援されるのか・・・それには個人差はありますが、自分がどんな人を応援したくなるのか・・・それは考え出したら見えてきます。

塾屋の進路指導において、その子の夢・目標を応援していくかは、こころの貯金を目安にしています。これは数値の大きさではなく、こころの貯金に対して時間・意識を向けているかどうかです。

# ボードゲームで学ぶ



1対1で対決するスピード系  
「ナインタイル」



大人数で犯人を捜す「人狼」

2010年代半ばから、ボードゲーム大国ドイツから様々なボードゲームが輸入され、日本でも独自に開発するクリエイターも増えてきました。

従来までは、ボードゲーム＝年末年始に親戚と遊ぶゲームというイメージでしたが、今では交流を促すアイテム、さらには**学力向上にも効果**があるとして、名古屋大学の授業でも取り入れられているくらい、その効果が注目されています。

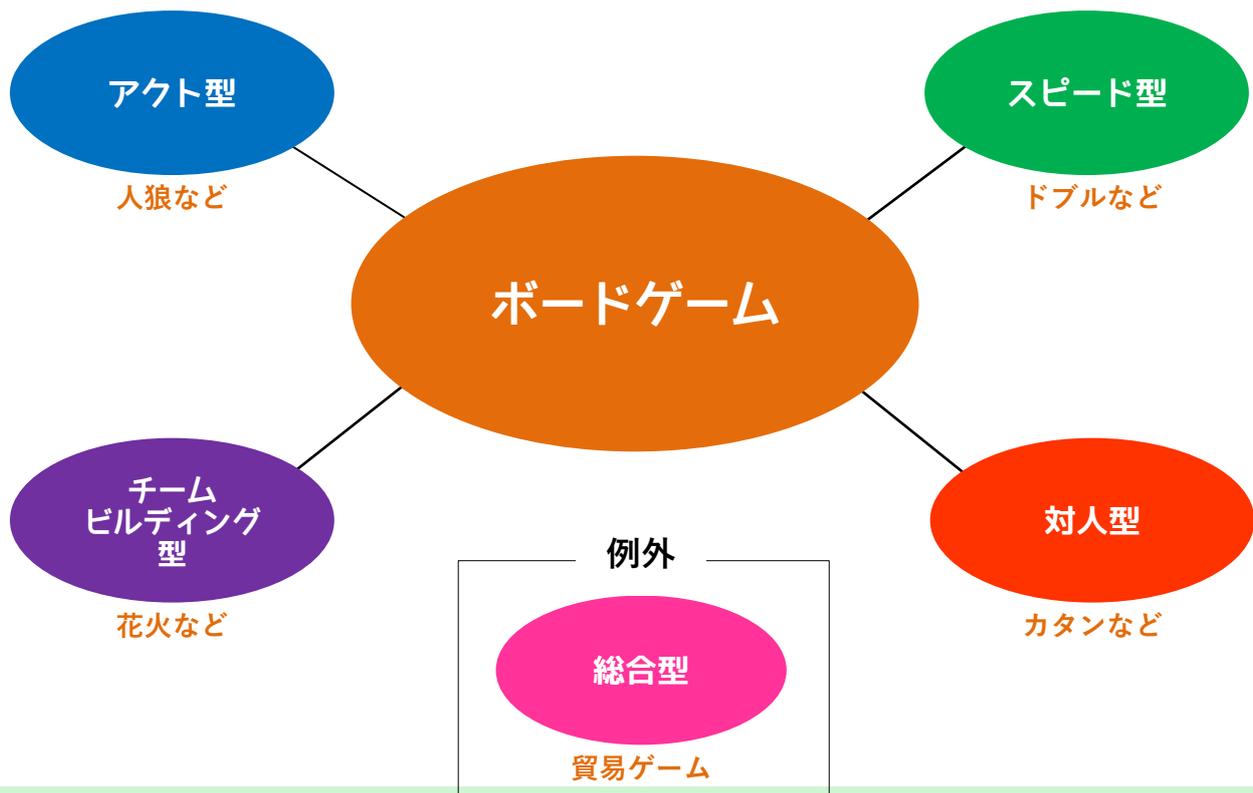
名古屋大学 有田隆也教授は、こう述べています。

ボードゲームを対象とするということは・・・(中略) 現実社会を生きて行く際に遭遇する様々な社会的場面において要求される思考力をトレーニングするということである。(中略) 簡単に言えば、社会の中で生きていく力をトレーニングするといってもよいであろう。(中略) しかも、心底から受講生は考えることを楽しみながらである。



2011年 コンピュータ&エデュケーション Vol31での記事より

< 塾屋ではボードゲームそれぞれの特性でジャンル分けしました >



ボードゲームは 「**ルールを学ぶ＝インプット**」を各自で行い

**ルールを守り、活かしながら＝アウトプット**

**勝利、達成＝ゴール**

を目指すものです

これは、有田教授の言うように、現在社会で重要な問題解決力、思考力を鍛え、それを達成するトレーニングになります。

つまり、ボードゲームに強くなるということは

**問題解決能力が高くなる 夢を叶える能力が高くなる**

ということです

# 小学1・2・3年生

必修授業→参加型授業（ボードゲームクラス Mix） 50分

（1年生：2 2年生：4 3年生：6 定員制）

自己管理段階（シール色）	月謝
シール  （指導スタート時）	6,000円（週1）

演習日をはじめたら	
シール  （演習スタート時）	12,000円（週2～）

## 費用に関して

自己管理シールが変更した翌月から月謝が変動する「**成長割**」を採用しています。

料金は全て後払いで、口座振替となります。

例：6月に授業をした場合、7月に請求書を郵送でお送りし、22日に口座から自動引落されます。

## 入塾時にかかる費用

### ① 入塾準備金 20,000円 ※入塾時のみ

一般にいう入会金ですが、塾屋では入塾時にかかった費用を請求しています

内訳：最初の懇談費用、生徒ファイル、口座振替手数料など入塾する際にかかる費用です

### ② 年間教材費 12,000円 ※以後、毎年3月に請求

授業中に使用するワークの他、自習中に使う参考教材、タブレットやパソコンなどの利用ボードゲームなどの費用が含まれています

## その他の特別な費用

年間予定をご参照ください

# 小学4年生

必修授業→参加型授業 50分 (+演習日)

(8名 定員制)

自己管理段階 (シール色)	月謝
シール  (指導スタート時)	6,000円 (週1)

演習日をはじめたら	
シール  (演習日スタート時)	12,000円 (週2~)
シール 	6,000円 (週2~)

## 費用に関して

自己管理シールが変更した翌月から月謝が変動する「**成長割**」を採用しています。

料金は全て後払いで、口座振替となります。

例：6月に授業をした場合、7月に請求書を郵送でお送りし、22日に口座から自動引落されます。

## 入塾時にかかる費用

### ① 入塾準備金 20,000円 ※入塾時のみ

一般にいう入会金ですが、塾屋では入塾時にかかった費用を請求しています

内訳：最初の懇談費用、生徒ファイル、口座振替手数料など入塾する際にかかる費用です

### ② 年間教材費 12,000円 ※以後、毎年3月に請求

授業中に使用するワークの他、自習中に使う参考教材、タブレットやパソコンなどの利用ボードゲームなどの費用が含まれています

## その他の特別な費用

年間予定をご参照ください

# 小学5年生

必修授業→参加型授業 50分 (+演習日)

(8名 定員制)

自己管理段階 (シール色)	月謝
シール  (指導スタート時)	6,000円 (週1)

演習日をはじめたら	
シール  (演習スタート時)	12,000円 (週2~)
シール 	6,000円 (週2~)

## 費用に関して

自己管理シールが変更した翌月から月謝が変動する「**成長割**」を採用しています。

料金は全て後払いで、口座振替となります。

例：6月に授業をした場合、7月に請求書を郵送でお送りし、22日に口座から自動引落されます。

## 入塾時にかかる費用

### ① 入塾準備金 20,000円 ※入塾時のみ

一般にいう入会金ですが、塾屋では入塾時にかかった費用を請求しています

内訳：最初の懇談費用、生徒ファイル、口座振替手数料など入塾する際にかかる費用です

### ② 年間教材費 12,000円 ※以後、毎年3月に請求

授業中に使用するワークの他、自習中に使う参考教材、タブレットやパソコンなどの利用ボードゲームなどの費用が含まれています

## その他の特別な費用

年間予定をご参照ください

# 小学6年生

必修授業→参加型授業 50分 + 演習日

(10名 定員制)

自己管理段階 (シール色)	月謝
シール <sup>黒</sup>	15,000 円 (週2~)
シール <sup>赤</sup> (指導スタート時)	12,000 円 (週2~)
シール <sup>黄</sup>	6,000 円 (週2~)

## 費用に関して

自己管理シールが変更した翌月から月謝が変動する「**成長割**」を採用しています。

料金は全て後払いで、口座振替となります。

例：6月に授業をした場合、7月に請求書を郵送でお送りし、22日に口座から自動引落されます。

## 入塾時にかかる費用

### ① 入塾準備金 20,000 円 ※入塾時のみ

一般にいう入会金ですが、塾屋では入塾時にかかった費用を請求しています

内訳：最初の懇談費用、生徒ファイル、口座振替手数料など入塾する際にかかる費用です

### ② 年間教材費 12,000 円 ※以後、毎年3月に請求

授業中に使用するワークの他、自習中に使う参考教材、タブレットやパソコンなどの利用ボードゲームなどの費用が含まれています

## その他の特別な費用

年間予定をご参照ください

# 中学生

必修授業→参加型授業 135分 + 演習日

(各学年12名 定員制)

自己管理段階 (シール色)	月謝
シール <sup>黒</sup>	27,000 円
シール <sup>赤</sup> (指導スタート時)	26,000 円
シール <sup>黄</sup>	23,000 円
シール <sup>銅</sup>	20,000 円

## 費用に関して

自己管理シールが変更した翌月から月謝が変動する「**成長割**」を採用しています。

料金は全て後払いで、口座振替となります。

例：6月に授業をした場合、7月に請求書を郵送でお送りし、22日に口座から自動引落されます。

## 入塾時にかかる費用

### ① 入塾準備金 20,000 円 ※入塾時のみ

一般にいう入会金ですが、塾屋では入塾時にかかった費用を請求しています

内訳：最初の懇談費用、生徒ファイル、口座振替手数料など入塾する際にかかる費用です

### ② 年間教材費 12,000 円 ※以後、毎年3月に請求

授業中に使用するワークの他、自習中に使う参考教材、タブレットやパソコンなどの利用ボードゲームなどの費用が含まれています

## その他の特別な費用

年間予定をご参照ください

# 高校生

必修授業→MTG 週1日（金か土）

指導科目→（銅になるまでは）全教科 （受験時は）指導希望科目のみ

シール <b>赤</b> (指導スタート時)	28,000 円
シール <b>黄</b>	26,000 円
シール <b>銅</b>	22,000 円
シール <b>銅</b> 大学受験部	12,000 円×管理科目

## 費用に関して

自己管理シールが変更した翌月から月謝が変動する「**成長割**」を採用しています。

料金は全て後払いで、口座振替となります。

例：6月に授業をした場合、7月に請求書を郵送でお送りし、22日に口座から自動引落されます。

## 入塾時にかかる費用

### ① 入塾準備金 40,000 円 ※入塾時のみ

一般にいう入会金ですが、塾屋では入塾時にかかった費用を請求しています

内訳：最初の懇談費用、生徒ファイル、口座振替手数料など入塾する際にかかる費用です

### ② 年間教材費 12,000 円 ※以後、毎年3月に請求

授業中に使用するワークの他、自習中に使う参考教材、タブレットやパソコンなどの利用ボードゲームなどの費用が含まれています

## その他の特別な費用

年間予定をご参照ください

※大学受験部は、高2春～遅くとも高2冬までに開始します

# 自習生

中学受験生、中学生、高校生、浪人生、社会人

※教室の利用方法など、自習生の利用方法の詳細は別紙をご用意しております

## 自習生プレミアムコース

教室内の自習室を使い自己管理で過ごす + 困ったときの質問対応

自習生プレミアムコース	月謝 20,000 円
指導コースからのコース変更の場合	月謝 15,000 円

入塾時にかかる費用

入塾準備金 20,000円 ※指導コースから変更の場合は0円

一般にいう入会金ですが、塾屋では入塾時にかかった費用とリスクを請求しています  
内訳：最初の懇談費用、口座振替手数料など入塾する際にかかる費用です

## 自習生スタンダードコース

教室内の自習室を使い自己管理で過ごす

自習生スタンダードコース	月謝 8,000 円
指導コースからのコース変更の場合	月謝 8,000 円

入塾時にかかる費用

入塾準備金 20,000円 ※指導コースから変更の場合は0円

一般にいう入会金ですが、塾屋では入塾時にかかった費用とリスクを請求しています  
内訳：最初の懇談費用、口座振替手数料など入塾する際にかかる費用です

# 小学1年生

月	主な行事	費用がかかるイベント	備考
4月			
5月			
6月			
7月	◎個別懇談会		
8月			
9月			
10月			
11月			
12月	◎個別懇談会		
1月			
2月			
3月	◎学年懇談会	◎年間教材費(12,000)	

◎・・・全員必須    △・・・希望者または該当者のみ

# 小学2年生

月	主な行事	費用がかかるイベント	備考
4月			
5月			
6月			
7月	◎個別懇談会		
8月			
9月			
10月			
11月			
12月	◎個別懇談会		
1月			
2月			
3月	◎学年懇談会	◎年間教材費(12,000)	

◎・・・全員必須    △・・・希望者または該当者のみ

## 小学3年生

月	主な行事	費用がかかるイベント	備考
4月			
5月			
6月			
7月	◎個別懇談会		
8月			
9月			
10月			
11月			
12月	◎個別懇談会		
1月			
2月			
3月	◎学年懇談会	◎年間教材費(12,000)	

◎・・・全員必須    △・・・希望者または該当者のみ

## 小学4年生

月	主な行事	費用がかかるイベント	備考
4月		△苦手講習(3,000~)	
5月			
6月			
7月	◎個別懇談会		
8月		△苦手講習(3,000~)	
9月			
10月			
11月			
12月	◎個別懇談会	△苦手講習(3,000~)	
1月			
2月			
3月	◎学年懇談会	◎年間教材費(12,000)	

◎・・・全員必須    △・・・希望者または該当者のみ

# 小学 5 年生

月	主な行事	費用がかかるイベント	備 考
4月		△苦手講習 (3,000~)	
5月			
6月			
7月	◎個別懇談会		
8月		△苦手講習 (3,000~)	
9月			
10月			
11月			
12月	◎個別懇談会	△苦手講習 (3,000~)	
1月			
2月			
3月	◎学年懇談会	◎年間教材費 (12,000)	

◎・・・全員必須    △・・・希望者または該当者のみ

# 小学 6 年生

月	主な行事	費用がかかるイベント	備 考
4月		△苦手講習 (3,000~)	毎月、鬼の日があります 該当者のみ (4,000)
5月			
6月			
7月	◎個別懇談会		
8月		△苦手講習 (3,000~)	
9月			
10月			
11月			
12月	◎個別懇談会	△苦手講習 (3,000~)	
1月			
2月			
3月	◎学年懇談会	◎年間教材費 (12,000)	

◎・・・全員必須    △・・・希望者または該当者のみ

# 中学1年生

月	主な行事	費用がかかるイベント	備考
4月		△苦手講習 (800/3,000~)	毎月、鬼の日があります 該当者のみ (4,000)
5月	○決起集会		
6月		△テスト対策 (2,000)	
7月	◎個別懇談会		
8月		△苦手講習 (800/3,000~)	
9月		△テスト対策 (2,000)	
10月			
11月		△テスト対策 (2,000)	
12月	◎個別懇談会	△苦手講習 (800/3,000~)	
1月			
2月		△テスト対策 (2,000)	
3月	◎学年懇談会	◎年間教材費 (12,000)	

◎・・・全員必須    △・・・希望者または該当者のみ

# 中学2年生

月	主な行事	費用がかかるイベント	備考
4月		△苦手講習 (800/3,000~)	毎月、鬼の日があります 該当者のみ (4,000)
5月			
6月		△テスト対策 (2,000)	
7月	◎個別懇談会		
8月		△苦手講習 (800/3,000~)	
9月		△テスト対策 (2,000)	
10月			
11月		△テスト対策 (2,000)	
12月	◎個別懇談会	△苦手講習 (800/3,000~)	
1月			
2月		△テスト対策 (2,000)	
3月	◎学年懇談会	◎年間教材費 (12,000)	

◎・・・全員必須    △・・・希望者または該当者のみ

# 中学3年生

月	主な行事	費用がかかるイベント	備考
4月	◎通知表講座 ◎マインドマップ講座	△苦手講習 (800/3,000~)	毎月、鬼の日があります 該当者のみ (4,000)
5月	△決起集会		
6月		△テスト対策 (2,000)	
7月	◎個別懇談会	◎模擬試験 (4,000) △受験対策 HOP (無料) △公立入試テキスト (5,000) △苦手講習 (800/3,000~)	詳細は夏の懇談会で お伝えします
8月			
9月		△テスト対策 (2,000)	
10月			
11月		△テスト対策 (2,000)	
12月	◎個別懇談会	◎模擬試験 (4,000) △受験対策 STEP (無料)	詳細は冬の懇談会で お伝えします
1月		△テスト対策 (2,000)	
2月	◎通常授業終了	△受験対策 JUMP (21,600)	
3月	◎学年懇談会	△受験対策 JUMP 続き	3月~5月は自習のみ

◎・・・全員必須    △・・・希望者または該当者のみ

年々、小1・中1ギャップ(クライシス)と同じように「高1ギャップ」が問題になっています。高校になって勉強習慣がなくなることでの勉強の遅れ、行動不足が一番の原因であり、一度習慣が消えて遅れが出ると取り戻すことが困難になります。

そこで、中3時を卒塾とせず、高1の5月末までを『高1ギャップ防止期間』とし、3・4・5月は無料で自習生プレミアムコースの生徒として通塾してもらいます。

その後、6月以降、このまま自習生で続けるのか、指導を受けるコースに替わるのが必要なくなり卒塾するのかを考えてもらいます。

# 高校1年生

○月	主な行事	費用がかかるイベント	備考
4月			※月謝無料で自習生
5月	◎決起集会△卒塾		※月謝無料で自習生
6月	◎個別懇談会	△年間教材費(12,000) △テスト対策(2,000)	←継続する生徒のみ
7月			
8月			
9月			
10月		△テスト対策(2,000)	
11月		△テスト対策(2,000)	
12月	◎個別懇談会		
1月			
2月		△テスト対策(2,000)	
3月	◎個別懇談会	◎年間教材費(12,000)	

◎・・・全員必須    △・・・希望者または該当者のみ

# 高校2年生

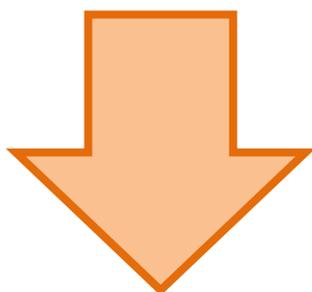
○月	主な行事	費用がかかるイベント	備考
4月			
5月		△テスト対策(2,000)	
6月		△テスト対策(2,000)	
7月	◎個別懇談会		
8月			
9月			
10月		△テスト対策(2,000)	
11月		△テスト対策(2,000)	
12月	◎個別懇談会		
1月			
2月		△テスト対策(2,000)	
3月	◎個別懇談会	◎年間教材費(12,000)	

◎・・・全員必須    △・・・希望者または該当者のみ

# 高校3年生

○月	主な行事	費用がかかるイベント	備考
4月			
5月		△テスト対策(2,000)	
6月		△テスト対策(2,000)	
7月	◎個別懇談会		
8月			
9月			
10月		△テスト対策(2,000)	
11月		△テスト対策(2,000)	
12月	◎個別懇談会		
1月			
2月			
3月	卒塾		

◎・・・全員必須    △・・・希望者または該当者のみ



## 高校卒業後（19、20才）

### 塾屋 < 高校卒塾特典 >

- ① 卒塾後2年間 塾の自習室 無料（約20万円相当）
- ② 教員志望者は塾屋スタッフとして優先採用（最長6年）

# 「安心宣言10か条」

- 1、月謝・講習費は後納です**  
塾屋では、指導してから費用をいただいています。（教材費のみ前納）
- 2、年間契約は行いません**  
前納にしないため、当然、年間契約は交わしません。
- 3、12年間の費用を事前に通知します**  
大手塾だと、毎月の月謝を安くしておいて、受験期になると急に高額な講習を必ず受けることになっているそうです。塾屋では高3までの12年間の費用明細が入塾案内にあります。
- 4、1ヶ月間の体験授業があります**  
1回の授業だけで塾屋がいいか判断するのではなく、積み重なっていく実感や続けていける感覚を保護者の方、お子様ともに確信してから入塾いただいています。
- 5、授業は塾長が担当します**  
塾長とスタッフの仕事を明確に分けてあります。参加型授業や苦手講習に関しては全て塾長が直接指導を行います。
- 6、過度な勧誘や引き止めは行いません**  
真に必要とされている方に通っていただきたいので、過度な勧誘や営業は一切行っておりません。むしろ、他の塾を勧めることや、入塾するタイミングを遅らせることもあります。
- 7、クラス分けや、成績の掲示はしません**  
成績による特別扱いはしておりません。その生徒の最初の状態から上げていくことこそ大切だと考えています。また、成績で席を決めることや成績を塾内に掲示することもあります。
- 8、〇〇高校〇名合格！は公開しません**  
塾屋では、過去の自分を越えていくことの大切さ・難しさを大切にしています。そのため、1人1人の自己ベストの更新と、独学レベルの向上の成功率を実績として掲載しています。
- 9、短期で成績を上げることはしません**  
塾屋では自律を目指し、様々な角度から、成績が無理なくあがる状態をつくっていきます。塾屋は「自然と上がる→安定→指導を次の段階へ移行→再び上昇→安定」の繰り返しです。
- 10、生徒の友人紹介を禁止しています**  
塾生が増えることはありがたいことですが、生徒間での紹介は禁止にしています。

# 「当たり前宣言 10 か条」

どの塾でも当たり前に行っていることは、塾屋でも実施しています。  
それを売りにしているわけではないため、大きく表記しておりません。

- 1、学校に完全対応した定期テスト対策を行います。  
(ただし、シール黒・赤の中高生には行わない)
- 2、高校受験、大学受験への対策や各種講習があります  
(ただし、シール黒・赤・黄色の中高生には行わない)
- 3、実力や志望校判定ができる模擬試験があります(中3時)
- 4、欠席者にはフォローや振替授業を行います
- 5、塾生は自習スペースをいつでも無料で使えます
- 6、苦手教科や単元克服の個別指導(講習)があります
- 7、個人情報の保護や管理体制は万全です
- 8、スタッフの育成・教育は、継続的に行っています
- 9、生徒の安全・防犯対策に力を入れています
- 10、ありのままを正直にお伝えします

つぼうち こうすけ  
坪内 康将



- 1983年(昭和57年)10月13日  
愛知県祖父江町(稲沢市)で生まれる
- 1989年—1997年度  
小・中学校ともに地元公立校で過ごす
- 1998年—2000年度  
公立「一宮興道」高校で過ごす
- 2001年—2004年度  
国立「愛知教育大学」教育科学科で過ごす。中学・高校の教員免許を取得し、卒業する
- 2005年～2007年度  
中堅学習塾の教室長に就任する
- 2007年1月  
独立し、「塾屋」をスタートさせる
- 2010年7月  
結婚  
10月  
塾屋が法人化し「株1098」になる
- 2014年1月  
第一子誕生

### 【これまでの指導の歴史】

小学生・中学生の指導生徒は累計で1500名を超える。学年1位から学年最下位の生徒まで、幅広く経験する。その経験から、どんな生徒でも成績は上がる…そのためには自律と共成が必要だと感じ、塾屋を始める。

しかし、その反面…

- ・絵が生徒より下手で、描くたびに「これ何?」といわれ、授業中の名物となる。
- ・キ〇イちゃんのシャープペンをお土産でもらい続け、今では100本以上もある。
- ・口癖や擬音語が多く、ときに変な名前の公式が発生する(例:虫くん、ちょうちょくん)

### 【塾長の小中学校時代のお話】

小学生時代は野球少年でした。4年生から3年間ピッチャーをしていました。とにかく運動しかしておらず、自慢できるのは運動だけ(笑)学校のマラソン大会を5年連続優勝とか50m走が7秒0で町内1位だったとか。

中学に入り360人中200位前後でした。しかし、塾に通わず、中学2年のときに11位にまで上がり、現役で国公立大学(学科で2位)に合格できました。このときの経験が、塾屋の原点です。

## ある日のこと…

—パパ 「土地を買ったぞ！」

**嬉**しもうに居た地家パパ。まあ、地家ファミリーのマイホーム建築の始まりです。買った土地は、100本の木が生えている広の森。

—パパ 「まずは、木を切って更地にしよう！」

パパ、ママ、そしてお兄ちゃんと妹、4人で力を合わせて木を切り倒します。

三分の一ほど木を切り倒したところで、

—パパ 「なあ、そろそろいいじゃないのか？もう十分に家を建てられるだけの木を切ったぞ。」

けれど、ママは反対しました。

—ママ 「いいえ。焦らず、全部の木をちゃんと切りましょう。」

—パパ 「もう、いいじゃないか。そんなに広い家を建てるわけじゃないだろう。」

—ママ 「でも、土地を広くしておけば、後から家を広げることも出来るわ。」

パパは渋々、木を切る作業に戻りました。まだ、家は立つ気配もありません…

**重**労働で、次第に疲れもでてきます。ママも心のどこかで、やっぱり、やっぱりあのくらいでよかったか、うんなんて思いついたけれども、そんな大筋を見れば、成長している子どもたち、パパとママも改めて、腕に力を込めました。そして、ようやく100本の木を切り終えることができました。

## ／ さあ、家を建てましょう！ ／

まずは基礎工事から。パパとお兄ちゃんだけで鉄筋を組み合わせて築いていきます。その間にママと妹は「インテリア」作りです。

—妹 「ママ！水を入れすぎちゃったみたい。」

—ママ 「あら、でも使えないことはないわね。少しくらい大丈夫よ、そのままやっちゃいましょう。」

それを聞いていたパパ、

—パパ 「おいおい、ダメだよ。新しいコンクリートを買って直してこよう。」

—ママ 「ええ？面倒くさいわよ。それに、お金もかかるし…」

—パパ 「でもな、水の分量を間違ったコンクリートで、基礎作りに失敗したら、それこそ全てが水の泡だぞ。」

パパに促されたママと妹

**新**しいコンクリートを使い、そして新たに止いの分まで作ったコンクリートを流し込んでくれました。ようやく、基礎工事が完成。これでやっと、家づくりはかかれます。ママは毎日夢に夢中。

—ママ 「キッチン是对面式がいいわね。壁紙はどうしようかしら？」

—パパ 「書斎が欲しいなあ…」

壁紙で埋めていきます。

—妹 「私の部屋にはロフトが欲しいなあ。」

—兄 「僕の部屋には、大きな窓が欲しい。」

賑やかに悪い悪いの構想を練り、夢を描きながら、力を合わせて入材を進み立てていきます。

**そして、築家の完成です！**

しかし、物事はとて終わりでありません。その後の築家ファミリーの「旅」を少し覗いてみましょう。

**み**んなで力を合わせて築いた築家。…数年後、築家ファミリーには赤ちゃんが生まれ、家族が増えました。新しい生活の始まりです。幸せいっしょの家族。一方で新たな希望も増えてきました。

—パパ 「もう一部屋ほしいなあ。そうだ。あの時は家族が増えるなんて思ってもみなかった。今思うと、広い更地を築いておいてよかったな。」

—ママ 「赤ちゃんも生まれて町までお買い物に行くのは辛いけれど、ここで野菜を栽培できるわ。広い土地を作っておいてよかったわ。」

ところが？んなある。



大地震が起きたのです。

次々に倒壊して行く家もある中で、泡も時まで倒壊なかった築家。

—パパ 「丈夫な家でよかったな。」

その時、ママはドヤっとしたのです。

—ママ 「もしあの時…早く家を建てたいばかりに、コンクリートの硬さを、あのままでもいいわと言って直していなかったら…」

**壁**紙を張り替え、窓を塗り直しでどんなに綺麗な家にしていても大地震の前ではひと足まりもなかったことでしょう。築家よりも大きくて豪華で耐震対策も万全だったはずのお家に、倒壊していました。

コンクリートには大きなヒビが入り、耐震対策万全だったはずの家そのものを支えきれなかったのです。

最新の耐震対策をして、とくに豪華で美しい家を建てても、見えない基礎工事がずさんであったなら…地震の前にはひと足まりもなく倒壊してしまいうのです。

築家ファミリーは、大倒壊マイホームをぞっと見上げました。

さあ

次はあなたが**あなたの家**を建築する番です

広い更地を作って、基礎工事にしっかりしてください。

下抜き工事は減価の元です。

基礎工事を終わったら、いろいろな図面を書けて、あなたの好きな家を建ててください。

広い土地ならば、花広にするもブーレにするもアースコートにするも、

家をもっと広くするもあなたの自由。

3階建てでも10階建てでも好きな家を築きましょう。

もっとも何年かの地震では倒れません。

基礎はしっかり築かれています。

そう可能性は無限大。

土地を広げ、土台をしっかり築いたならば、

あなたが建てる家に、たくさんの夢と可能性を見つけてください。

無限大の可能性を秘めたあなたの家を、塾屋と一緒に築いていきましょう。

## 最後に

長く、つたない文章ですが、最後まで読んでいただきありがとうございます

私個人としては、説明がない、または口頭でされるよりも文章でしっかり残っているのが気になったときに読み返す方が助かるので、なるべく書面でお伝えしています

ここまで読んでいただいた教育熱心なご家庭のお子様への指導が出来ることを楽しみにしています

2021年3月改訂

(株) 1098 塾屋

〒473-0936 愛知県豊田市岡田町堀畑05

代表兼塾長 **坪内康将**